

# 長沼町第3回まちづくり学習会

- 1 DXって何ですか？
- 2 学びはどう変わるの？
- 3 大人はどう支援する？

長沼町部活動地域移行コーディネーター

文部科学省学校DX戦略アドバイザー

文部科学省コミュニティ・スクールマイスター

森 万喜子

長沼町第3回まちづくり学習会

## 子どもが主語の学校と 教育DX



新保 元康 氏

特定非営利活動法人はっかいどう学推進フォーラム理事長  
文部科学省学校DX戦略アドバイザー  
北海道教育委員会学校力向上に関する総合実践事業アドバイザー  
元札幌市立小学校長 教育の情報化・働き方改革等数々の学校改革を行う。



森 万喜子 氏

長沼町教育委員会部活動地域移行  
コーディネーターとして勤務のほか、  
執筆・講演、文部科学省CofMイッ  
スター、北海道大学大学院教育学部  
発達臨床研究センター研究員等  
なんでもやります元中学校長

■今、学校で当たり前になった一人一台ノートパソコン、インターネットにデジタル教材、生成AI等色々耳にするけど、これは何の目的で、何をめざしてやっているの？モニターばかりみていて健康は大丈夫？遊んでいるのか学んでいるのがよくわからない……そんな正直な疑問やお悩みもありますよね。だって私たち大人が子どもの時には無かった世界ですから。

そんなあれこれを、北海道のデジタル教育の第一人者、新保元康氏にお聞きします。長沼の子どもたちの学びと未来のウェルビーイングの鍵を、一緒に学びましょう。

2025年7月10日(木)

18:00~19:30 長沼町総合保健福祉センター  
りふれ 三世代交流室

主催・問い合わせ先：長沼町教育委員会  
TEL 0123-76-8026

申込はこちらの  
QRコードから



# 1 DXって何？

Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)の略

trans (～を変換する、～を超えて、～を横切って)という意味の接頭語で  
xと略して表現される

translate transfer transparent transform transgender

transformation 変換 変化 変質 (業務や事業の)変革

つまり 学校DXって デジタルで学びや学校の仕事のしくみを変えることをいいます。

アタシもDXだけど.....  
デラックスとは違うDX  
なのね

# デジタルにしたら、なんかいいことあるの？

勉強してるのか  
遊んでるのか  
わかんないよねー

メディアでは  
デジタルかアナログか  
タブレット端末か紙の書籍か？  
いわゆる二項対立で議論をあおられがち  
なんだけど……

やっぱり手書きのほうが  
覚えるんじゃない？

高校入試  
は手書きだ  
し……

大事にしたいのは 子どもたちの**学びやすさ**

# たとえば.....**学びやすさ**

口頭説明よりも

図や写真のほうがわかりやすい

白黒より**カラー**のほうがわかりやすい

紙よりも**画像**のほうがわかりやすい

静止画より**動画**のほうがわかりやすい

動画に**音声(説明)**がついたほうがわかりやすい 文字も**読み上げてほしい**

外国人なので母国語の**字幕**や**通訳音声**があったほうがわかりやすい

見る・聞くだけの**受け身のかたち**よりも **こちらからの質問にこたえて**もらったほうがいい

ひとりで学ぶよりも **友達と共同作業した方**がわかりやすい

文字拡大  
ふりがな  
読み上げ  
ゆっくり⇔速く  
何度も繰り返し

# 学びの質の向上

リコーダーや歌・英語のスピーチなどの  
パフォーマンステスト

社会の問題についてグループで議論している中学生



大勢の前で発表するのが辛い発表の待ち時間が膨大評価に時間がかかる

各自で動画に記録してファイルを送信する方法に変更

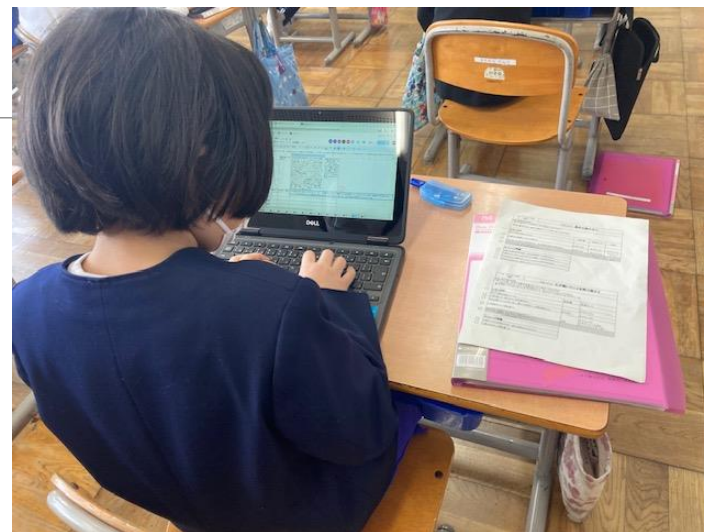
児童生徒は何度も練習してベストなものを出せる

教員のパソコンに、生徒から動画ファイルが送られてきます。先生はゆっくり再生し、評価します。欠席がちな生徒にも好評



# 小学校での学びの変換

一人一台端末を活用して学びを変えていく



石川県の小学校の学びの風景  
子どもに学びを委ねる  
学びのコントローラーを子どもに。

学ぶ場所を**選ぶ・決める**  
ひとりで、グループで？  
何を勉強する？  
見通しを立てる 決める



算数3	算数3	今日は円を昨日の続きでしました円の4が難しかったです。ヒントカードがなかったです。でも友達に聞こうと思ったけど、昨日自分で決められるようにしたいと書いて今日はそうするつもりだったので自分でたくさん考えたらできたので自分でも考えたらできることがわかりました。あと今日はチェックテストもしました。途中まで解題に行ったらど忘れからなくなって考えたけど最初は無視してしまっただけでもう一回考えたら折ってあって4cmなのでその二倍つまり4をかける2と同じになるので8cmということがわかりました。解説動画は一見合符で感じかったです。少し似たの解をやったけどあまり進まなかったため次の時間に自分買った物を進んで理由を書いて返りたいです。理由を特に詳しく書いて相手にどこが面白かったかより伝わりやすいように書きたいです。	友達に聞く前にもう一度自分で考え、そしてできたわいさん、それこそ自分の学びや成長につながるよ！自分にあまらずに行動し、考えもすがすがしにしてください。
算数4	算数4		

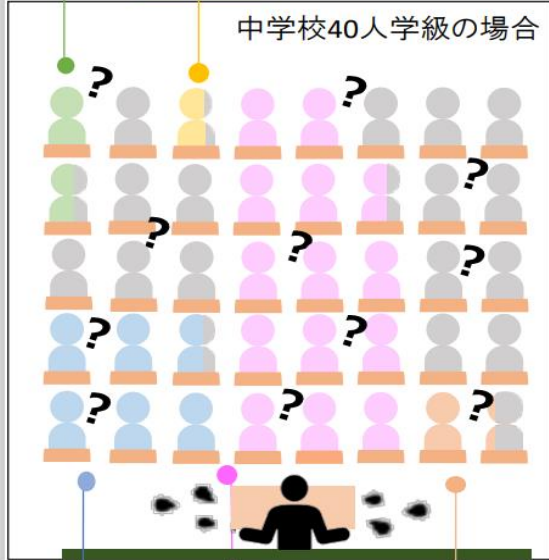
子供の認知の特性を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「そろえる」教育から「伸ばす」教育へ転換し、子供一人ひとりの多様な幸せ(well-being)を実現するとともに、一つの学校がすべての分野・機能を担う構造から、分野や機能ごとにレイヤー構造にし、デジタル技術も最大限活用しながら、社会や民間の専門性やリソースを活用する組織(教育DX)への転換を目指す。これを実現するためには、皆同じことを一斉にやり、皆と同じことができることを評価してきたこれまでの教育に対する社会全体の価値観を変えていくことも必要となる。

子供たちが多様化する中で紙ベースの一斉授業は限界

発達障害の可能性のある子供

Gifted

中学校40人学級の場合



不登校  
不登校傾向

日本語を家で  
あまり話さない子供

家にある本の冊数が少なく  
学力の低い傾向が見られる子供  
※語彙や読解力の低下は重要な教育課題

※子供の数の考え方・定義等については、スライド10の出典と同様。

2017年改訂により資質・能力重視の教育課程へと転換

多様な子供たちに対してICTも活用し  
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実

教師による一斉授業  
一定のレベルを想定した  
授業展開

同一学年で  
同一学年で構成され  
該当学年の学び

同じ教室で  
集団行動が  
基本となる教室で

教科ごと  
教科担任制のもと  
教科ごとの指導

Teaching  
指導書のとおり  
計画を立て教える授業

同質・均質な集団  
教員養成学部等を卒業し、  
定年まで勤めることが基本  
下働きを求められる教師

主体

子供主体の学び

子供の理解度や認知の特性  
に応じて自分のペースで学ぶ

学校種  
学年

学年に関係なく

学年・学校種を超える学び  
や学年を遡った学びも

空間

教室以外の選択肢

教室になじめない子供が  
教室以外の空間でも

教科

教科等横断・探究・STEAM

教科の本質の学びとともに、  
教科の枠組みを超えた  
実社会に生きる学びを

教師

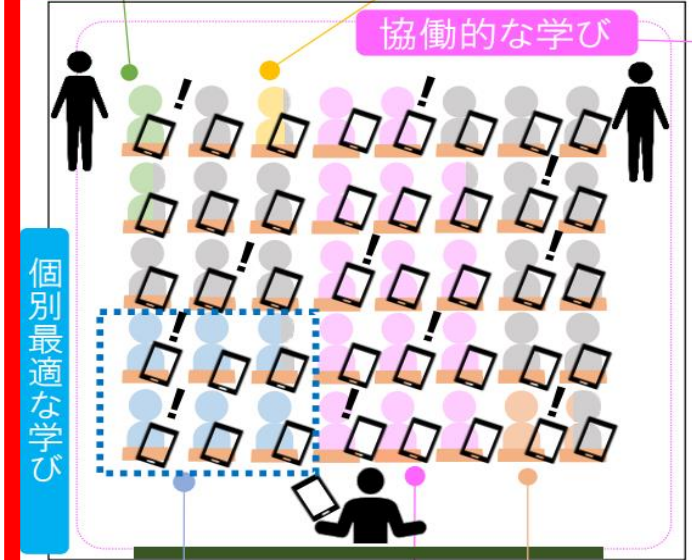
Coaching

子供の主体的な学びの  
伴走者へ

教職員  
組織

多様な人材・協働体制

多様な教職員集団  
理数、発達障害、ICT、  
キャリアなど専門性を



個別最適な学び

不登校・不登校傾向  
学校の中に通常の学級から離れて  
学習ができる学びの場、教育支援セ  
ンター、不登校特例校、夜間中学、  
フリースクールをはじめ、NPOや民間  
等の力も活かしつつ、従来の学び方  
とは別の形で学ぶことができる

日本語を家で  
あまり話さない子供  
特別なカリキュラム組み、  
ICTも活用しながら、日本  
語習得と同時に学びを  
進めることができる

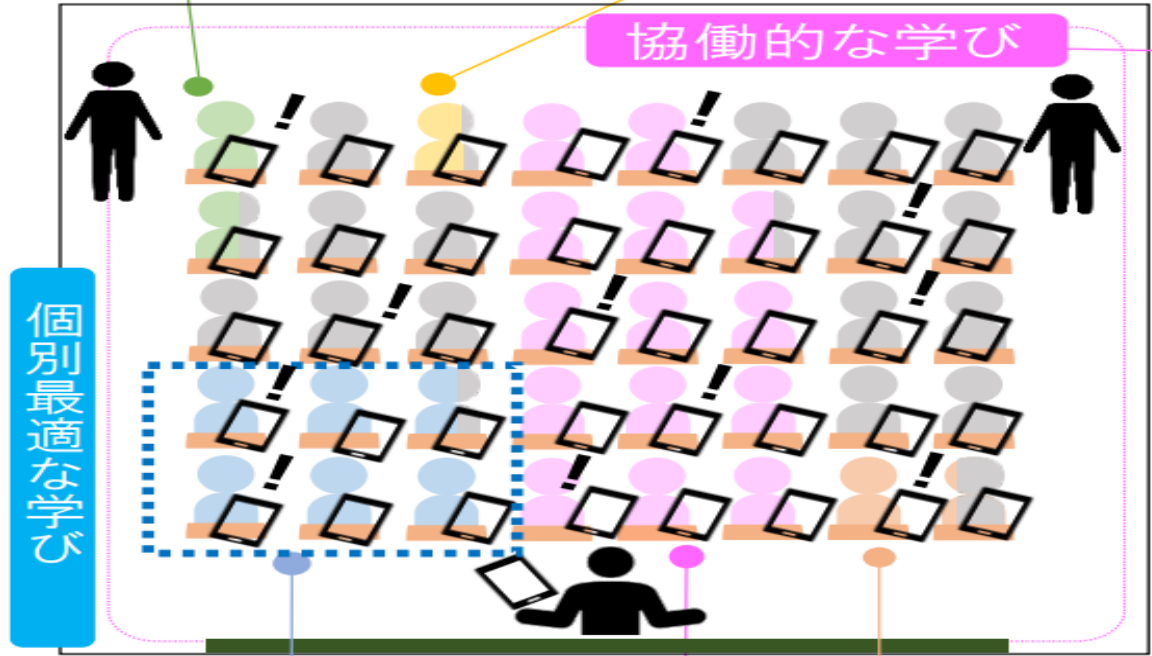
家にある本の冊数が少なく  
学力の低い傾向が見られる子供  
タブレット等の活用により自分のペースで着実に

家庭や経済力、認知の特性や興味などが異なる子供たちが「協働」で学ぶ機会の確保が公教育の肝  
※協働的な学びの重要ツールが情報端末であり、そのためには情報スキルが重要

# 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実

**発達障害等**  
自分の特性を理解し、ICTを活用しながら、自分に合った学び方で進めることができる

**Gifted**  
特異な才能のある分野を伸ばすため、大学や研究機関で学ぶことができる



家庭や経済力、認知の特性や興味などが異なる子供たちが「協働」で学ぶ機会の確保が公教育の肝  
※協働的な学びの重要ツールが情報端末であり、そのためには情報モラルが重要

**不登校・不登校傾向**  
学校の中に通常の学級から離れて学習ができる学びの場、教育支援センター、不登校特例校、夜間中学、フリースクールをはじめ、NPOや民間等の力も活かしつつ、従来の学び方とは別の形で学ぶことができる

**日本語を家であまり話さない子供**  
特別なカリキュラム組み、ICTも活用しながら、日本語習得と同時に学びを進めることができる

**家にある本の冊数が少なく学力の低い傾向が見られる子供**  
タブレット等の活用により自分のペースで着実に自分の理解に応じて学びを進めることができる

**主体**  
**子供主体の学び**  
子供の理解度や認知の特性に応じて自分のペースで学ぶ

**学校種 学年**  
**学年に関係なく**  
学年・学校種を超える学びや学年を遡った学びも

**空間**  
**教室以外の選択肢**  
教室になじめない子供が教室以外の空間でも

**教科**  
**教科等横断・探究・STEAM**  
教科の本質の学びとともに、教科の枠組みを超えた実社会に生きる学びを

**教師**  
**Coaching**  
子供の主体的な学びの伴走者へ

**教職員組織**  
**多様な人材・協働体制**  
多様な教職員集団  
理数、発達障害、ICT、キャリアなど専門性を活かした協働体制

# 子どもが主語の学校ってどんな学校？

---

安心して失敗できる  
失敗から学べる

子どもが自分  
らしくいられる

自分で  
決められる

あなたがいてくれてうれ  
しいとよろこんでくれる大  
人がいる

学びが  
たのしい

空いているところに自分の考え  
を書いて話し合ってみませんか

長沼町の子どもたちが  
安心して安全に  
学び、育つ環境を  
みんなで語り合ってつくろう

